

[広報]

やめがわ

PUBLIC RELATIONS SAMEGAWA



笑顔がキラリ



青色の歯ブラシを器用に使ってゴシゴシ。お母さんと一緒に歯みがきをする宗田健竜くん(宿ノ入)は、3歳児健診でむし歯ゼロでした。「小さいころから楽しく歯みがきができるように心がけました」と振り返る美咲さん。

2月20日実施の3歳児健診でむし歯のない子は受診児3人中1人でした。

■特集 わたしと鮫川村の1065日

■行政NAVI
令和2年度当初予算

■ほっとニュース
鮫川中学校卒業式
春季火災防御訓練

やめがわ
April
2020
4

令和2年4月1日発行(毎月1日発行)
第792号(昭和27年9月創刊)

発行/福島県鮫川村 編集/鮫川村役場総務課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み

Episode_32

松本一治さん 弘子さん

富田字欽木田/1969(昭和44)年3月結婚

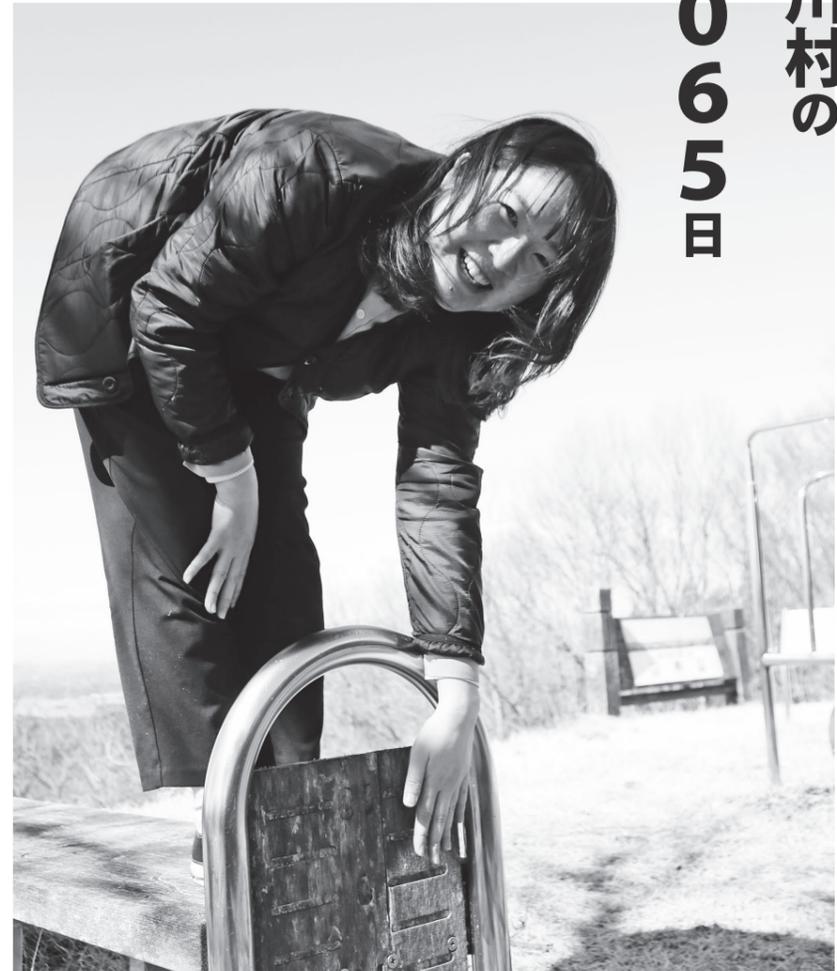
同級生夫婦の松本一治さんと弘子さんは、昨年金婚を迎えました。「中学生の頃は私より小さくてチョロチョロしてたのにと、当時を思い出す弘子さん。久しぶりに一治さんを見たときは、印象が変わりすぎて同級生だとはまったく気づかなかったそうです。一方、一治さんは「小さい頃はよく頭叩かれたんだ」と弘子さんを見て笑います。にぎやかに掛け合う2人のやりとりに仲睦まじさを感じました。再会から結婚まであっという間だったことにも納得です。

仕事の転勤、幼くして亡くなってしまった次男、3世代同居の生活、子どもの教育。— 結婚生活50年は平坦な道

ではありませんでしたが、当時を話す2人の顔はとても晴れやかです。「夢中ここまでやってきたけど、今振り返ると良い人生を歩いてきたね」と目を細める弘子さん。楽しかったことも、大変だったことも今では等しく良い思い出です。

ハーモニカ演奏やサロンの開催、傾聴ボランティアなどの活動を積極的に行う弘子さんを一治さんは「すごいんだ」と褒めます。弘子さんも「お父さんは今年から民生委員。趣味の民謡は今でも頑張っていてすごい」と返します。お互いを素直に尊敬し「すごい」と言い合える関係こそ、二人が今も笑顔で過ごしている秘訣なのかもしれません。

わたしと 鯨川村の 1065日



「ここは小さい頃によく遊びに来た場所です」(撮影：墓地石山公園)

ながぬま・ちひろ 東京都東久留米市出身。
平成28年に地域おこし協力隊として鯨川村に着任。
今年3月、3年間の任期を終える。

協力隊の3年間を振り返る

永沼ちひろさんは平成28年5月、鯨川村で4人目の地域おこし協力隊として、村の都市交流やグリーン・ツーリズムの振興を目的に着任しました。母親の故郷でもある鯨川村をもっと輝かせたい、という思いで村の地域おこし協力隊に就いたという永沼さんの活動を振り返ります。

グリーン・ツーリズムとは、農山漁村地域で、その地方の自然や文化、交流を楽しむ滞在型の余暇活動を言います。価値観が多様化する中で、「ゆとり」や「やすらぎ」を求めるグリーン・ツーリズムに対する関心が高まっており、鯨川村の特性を活かした村づくり推進に向けて力を入れている分野でもあります。

都市交流を発展させる

永沼さんの活動は、東京鯨川会など都市部に住む人の鯨川観

光ツアーの受け入れなどから始まりました。「鯨川村は小さな村ですが、毎年たくさんの方のツアーを受け入れていたことに驚きました。春から夏、秋にかけて見どころも多く、私も1年目は地域のことを学びながら受け入れの準備を進めなくては、と必死になってやっていました」と話す永沼さん。手・まめ・館とも協力して都内での物産販売やPR活動に参加し、村の魅力アピールしました。

そして、3年目には若い世代を対象に「親子農村体験ツアー」を新たに企画しました。「私は鯨川村のツアーの参加者がいつも同じであることに疑問を感じていました。そこで、物販などを通じてできた新しいつながりを活かし、若い世代のファンづくりのきっかけになればと思います」と、このツアーを企画しました。参加してくれた人が今後、自発的に村に遊びに来れるような関係づくりを期待しています」と、ツアーの手ごたえに自信をのぞかせます。



1_1年目はさまざまな地域の方や農家さんをまわり、体験メニューに活かそうな作業などを調べました／2_2年目には「どんなおもてなしをしたら喜んでもらえるのか」を皆さんと一緒に考えるおもてなし講座を企画し、都市交流のノウハウを学びました／3_若い人を村に呼び込むきっかけづくりとして企画した「親子農村体験ツアー」は大好評でした／4_村は年間を通して15回以上も物産販売をしています。私も村の特産品を売りながらしっかりPRしてきました

・地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化社会が進む地方で、地域外の人を受け入れ、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。

隊員は、地方自治体の委嘱を受けてから最大で3年間、各種の地域協力活動を行います。任期終了後は、就職や就農のほか、起業をするなど、隊員の約6割が同じ地域に定住しています。

・広がる地域おこし協力隊の活躍

平成21年に地域おこし協力隊の制度が始まり、毎年隊員数は増加しています。現在、福島県内だけでも42の市町村で、146人の協力隊員が活躍しています。(令和2年2月1日現在)

わたしの活動と農家民宿

里山に泊まろうー。
 村の自然、交流を楽しめる農家民宿。
 飾り気のない素朴さと四季折々に移り変わる里山の魅力をもっとたくさんの人に知ってほしい。

農家民宿の可能性

村のさまざまなグリーン・ツーリズムの取り組みと関わる中で、永沼さんは農家民宿に注目しました。

農家に泊まり、地元食材で作られた料理を食べ、農作業を通して地元の人たちと交流ができる農家民宿。農村の豊かな自然、生活や文化などに直接触れられる新しい旅のスタイルです。

「農家民宿では、田舎に帰っ

た気持ちになって気を遣わずにゆっくり過ごすことができます。民宿のお父さんもお母さんもおもてなしをするのが大好きな人ばかり。最初は緊張するかもしれませんが、一晩過せばそこは気が休まる第二のふるさとのように感じられるはずですよ」と話す永沼さん。

観光地とは違う鮫川村の魅力が一番わかってもらえる場所だと付け加えます。

わたしと農家民宿

永沼さんは農家民宿連絡協議会の事務局として3年間携わり、今年には特に農家民宿の紹介パンフレットの作成や村ホームページの更新のほか、新たに3軒の農家民宿の開業を支援するなど、精力的に活動しました。

「村の農家民宿は、都市部の人にとってたくさんの魅力があります。私はそのことを県内外

の人にもっと知ってもらおうことが大切だと感じました。そこで、民宿ごとに異なる魅力を私自身で取材し、ホームページに掲載したり、パンフレットを作ったりなどしました。特色のあるPRができるように、特産品『さめがわゆべし』も皆さんと一緒に考案し、今後は東京での物販などを誘引するきっかけにできればと考えています」と話します。



野菜の収穫やこんにやくづくりなどの体験ができるのも農家民宿の魅力（郷里）



←今年開業した農家民宿（きよらの里）

→民宿ごとに特色があって面白いです（きよらの里の菌床シイタケ栽培）



農家民宿の視察研修も企画・実施しました（山形県飯豊町）



農家民宿を紹介するために新たに作成した「農家民宿パンフレット」は手・まめ・館などの施設で配布中

農家民宿の開業に必要な費用を補助します

鮫川村農家民宿開業費補助金

村内に住所があり、村内で農家民宿を開業しようとする人または団体に、補助金を交付しています。補助金の対象となる経費は、旅館業の営業許可および飲食店の営業許可取得に必要な許認可申請費用。経費の2分の1以内の額を補助します。申請方法などの詳細については、村農林商工課(☎49-3113)にお問い合わせください。

Interview

今年、農家民宿を開業した方に聞きました



村農家民宿「和（なごみ）」
本郷 敏子さん 西山字落合

永沼さんには民宿開設のときに事務的な話や保健所とのやりとりなどでお世話になりました。こまめに連絡を取ってくれたので、安心して開業まで進めることができました。物販でも一緒したことがあります、元気に売り子している様子がとても印象的でした。いざいなくなってしまうと少しさみしいですね。



村農家民宿「まどろみ」
前田 春江さん 赤坂東野字官代

村の案内のチラシを見て、農家民宿の開設に興味を持ちました。民宿の運営は漠然としたイメージでしたが、ちひろちゃんや村の方と話しているうちにやりたいことが色づくようになっていき、無事に開業することができました。ちひろちゃんは可愛い娘のようで、いろいろ背中を押してもらって嬉しかったです。

スマートフォンの方はこちらのQRコードからホームページにアクセスできます



鮫川村農家民宿連絡協議会

村農家民宿連絡協議会は、農家民宿同士の連携とグリーン・ツーリズムの推進を目的に組織されました。会員は運営方法の研修や地元食材を活かした食事メニューの研究などのほか、ツアー受け入れなどの協力体制をつくっています。また、首都圏で行われる物産販売イベントに参加し、民宿のPR活動にも力を入れています。

農家民宿ご利用料金

大人（中学生以上） 1泊2食 7,000円
 小人（小学生以下） 1泊2食 5,500円

農家民宿名	代表者（敬称略）	電話番号
くるま	青戸 良一（前沼）	49-3211
郷里（さと）	本郷 訓子（落合）	49-2588
はなの宿（や）	根本 良子（岩野草）	49-2870
和（なごみ） New!	本郷 敏子（落合）	49-2773
まどろみ New!	前田 春江（官代）	49-2116
きよらの里（さと） New!	鈴木 リキ子（馬場）	49-2147

※「New!」は今年新規に開設した民宿です
 ※各民宿の詳細な情報は村ホームページよりご覧になれます

任

期を終えて……。

—— 永沼ちひろ



「たくさんの人に支えられて3年間活動することができました」(撮影：余所内地内)

山 あいの集落が連なる鮫川村は閉鎖的でありながら、そこが大きな魅力に繋がっていると思えます。

私のように、よそから来た人には、だんだんと知り合いが増えて繋がりができていく楽しみがあります。そして、人と人が繋がり、支え合う姿に感動を覚えました。

私にとっても、すれ違う人とのあいさつやおすそ分け、困ったときの相談役など、これまでの暮らしにはなかったものばかり

りで、村での生活は経験したことがない充実したものでした。一方で、村では何か新しいことを始めるには繋がりがから『どこの』『だれが』という話になり、時には妨げになってしまうこともあり。そういう時こそ、私のような協力隊がヨソモノとして平等な立ち位置で地域の人と一緒に考え、実践していくことが大切なんだと気づくことができました。

鮫 川村の人たちは「何も無い」「不便」と言いなが

らも、村の将来に向ける思いをとても強く持っています。そして、村のために自分にできることを頑張っている人がたくさんいます。

一人ひとりが村を思うその熱意はかけがえのないものです。私も皆さんの前向きな姿勢にいつも刺激を受けました。

東 京に戻っても、皆さんのようにいくつになっても元気に、挑戦できる人になりたいと思います。3年間、本当に世話になりました。

村が取り組む グリーン・ツーリズム

村の都市交流の歴史は昭和62年の東京鮫川会の発足から山村留学「竹飛歩学園」開園に始まり、平成7年からは村営の体験交流型宿泊施設「ほっとはうす・さめがわ」を整備。東京農大、大妻女子大や福島大などを受け入れ、交流の幅を広げました。平成20年からは、農山漁村で子どもたちに宿泊体験させる全国的な取り組み「子ども農山漁村交流プロジェクト」を受けて、鮫川村農村体験交流協議会（グリーン・ツーリズム協議会）が発足。そして、平成26年から農家民宿が始まり、グリーン・ツーリズムの一層の展開を促進することが見込まれています。

鮫川村第4次振興計画（H27年）では、グリーン・ツーリズムや都市交流による産業振興を掲げ、農業の村としての特性を生かした観光・交流機能の強化を推進しています。

特に農家民宿を活かした体験

My second HOME

わたしの大切な場所 鮫川村



「鮫川村は私の第二のふるさとです！」(撮影：館山公園)

活動や受け入れ態勢の充実を進めており、民宿の目標利用者数300人に対し、昨年は386人が利用しています。新規開設に伴い、利用者数は今後も増加することが期待されます。

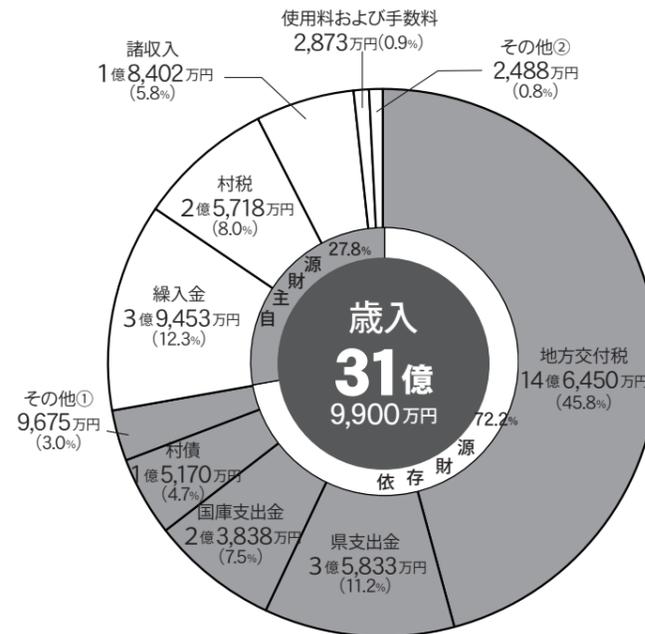
彼女が村にもたらしたもの

「あつという間の3年間でしっかりと振り返る永沼さん。グリーン・ツーリズムというテーマはあまりに大きく、自分の持ち味を出すまでにたくさん悩みました。「もっとうまくやれたかも」「早く動き出せば……」と悔しい気持ちをしませます。それは、彼女が村に住んで3年間、村の振興のために真剣に取り組んだからこそ出る感情です。

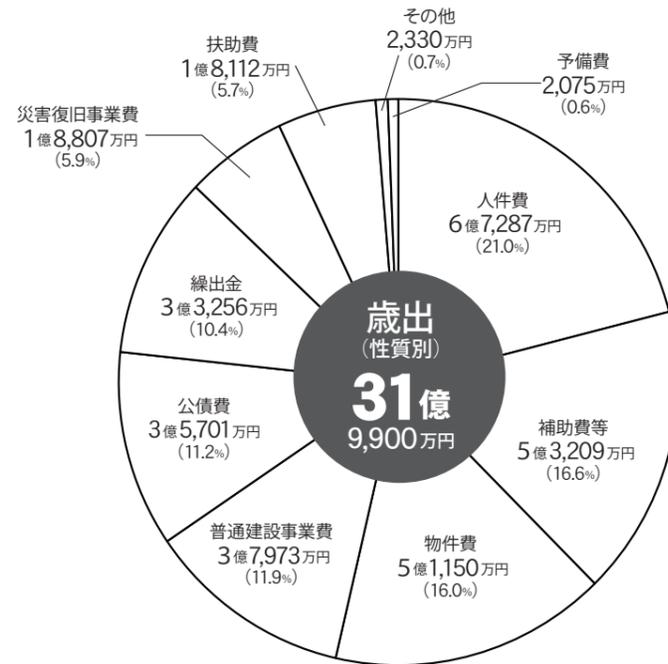
永沼さんが取り組んだグリーン・ツーリズムの流れを私たち村民が今後、どのように引き継ぎ、発展させられるか。この3年間の活動を本当に価値あるものにできるかどうかは、村に住み続ける私たちのこれからの行動にかかっています。

当初予算

令和2年度の村づくりが始まりました。一般会計の当初予算は、平成31年度に比べ3億1,900万円(11.1%)増の31億9,900万円となりました。令和2年度は第4次村振興計画の6年目を迎え、基本構想の「つながりで支え輝く村づくり」の実現に向けて各種事業を行うとともに、東日本大震災からの復興を着実に進め、元気の出る村づくりを進めていきます。



歳入 31億9,900万円 前年度比 11.1%増



【用語解説・歳入関連】
 ■自主財源 村税(村民税や固定資産税など)や使用料(保育料や住宅使用料など)、財産収入、寄附金など村が自分の手で確保できるお金
 ■依存財源 地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債など国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられるお金
 ■地方交付税 すべてが自治体が一応水準で行政サービスを提供できるように国から配分されるお金。普通交付税と特別交付税の2つからなる
 ■繰入金 各種基金から繰り入れるお金
 ■村債(地方債) 道路改良、住宅建設、水道整備などの事業を行うために長期間借り入れるお金
【用語解説・歳出関連】
 ■物件費 委託料や消耗品、備品の購入などに使うお金
 ■人件費 職員や会計年度職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使うお金
 ■普通建設事業費 道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使うお金
 ■補助費等 各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使うお金
 ■公債費 村債の元利償還金
 ■繰出金 一般会計から特別会計へ繰り出すお金
 ■扶助費 高齢者や障がい者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使うお金

歳入は、「自主財源」と「依存財源」に分けられます。

自主財源は、村税をはじめ村が自主的に収入できるお金で、依存財源は国や県から交付されるお金や借金をいいます。自主財源が多いほど、村の運営は安定し、独自性を保つことができます。

今年度の歳入予算のうち自主財源は、村税や財産収入、使用料が前年度より減少したものの、基金を取り崩して財源を確保する繰入金などにより、前年度と比べ2億950万円増加しています。

依存財源については、地方交付税は減少したものの、国庫支出金が増加したことなどにより、前年度と比べ1億950万円増加しています。

一般会計 総額 31億

歳出のうち目的別でみると、対前年比で最も増加したのは災害復旧費で、昨年10月に発生した台風19号の災害復旧工事によるものです。次に増加したのは教育費(56.4%増)で青少年広場大規模改修事業費によるものです。

一方、最も減少したのは総務費(9.4%減)で、村議会議員等選挙執行費等が減少したことによるものです。次に土木費(7.5%減)で、衛生費(6.0%減)、民生費(2.9%減)と続きます。〔表1参照〕

また、性質別でみると対前年比で最も増加したのは災害復旧事業費で、次いで普通建設事業費(77.6%増)となりました。〔表2参照〕

職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使うお金
 ■普通建設事業費 道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使うお金
 ■補助費等 各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使うお金
 ■公債費 村債の元利償還金
 ■繰出金 一般会計から特別会計へ繰り出すお金
 ■扶助費 高齢者や障がい者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使うお金

■会計別予算の状況

会計別	予算額	対前年度比	伸び率(%)
一般会計	31億9,900万円	3億1,900万円	11.1
特別会計	13億865万円	△452万円	△0.3
国民健康保険事業勘定	4億2,350万円	△895万円	△2.1
国民健康保険直診勘定	7,141万円	720万円	11.2
簡易水道事業	1億2,811万円	98万円	0.8
村営バス事業	900万円	△155万円	△14.7
集落排水事業	3,222万円	△261万円	△7.5
介護保険	4億8,683万円	△499万円	△1.0
交流施設	1,760万円	363万円	26.0
学校給食センター	1億34万円	△8万円	△0.1
後期高齢者医療	3,964万円	185万円	4.9
予算総額	45億765万円	3億1,448万円	7.5

■一般会計の状況

□目的別歳出予算

〔表1〕

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
民生費	5億5,287万円	17.3	△1,673万円	△2.9
教育費	4億3,109万円	13.5	1億5,544万円	56.4
総務費	4億601万円	12.7	△4,188万円	△9.4
農林水産業費	3億9,357万円	12.3	△1万円	0.0
衛生費	3億6,274万円	11.3	△2,324万円	△6.0
公債費	3億5,701万円	11.2	213万円	0.6
災害復旧費	1億8,807万円	5.9	1億8,783万円	-
土木費	1億6,797万円	5.2	△1,367万円	△7.5
消防費	1億3,655万円	4.3	309万円	2.3
その他	2億312万円	6.3	6,604万円	48.2
計	31億9,900万円	100.0	3億1,900万円	11.1

※その他=議会費、労働費、商工費、予備費

□性質別歳出予算

〔表2〕

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人件費	6億7,287万円	21.0	1億95万円	17.7
補助費等	5億3,209万円	16.6	△3,782万円	△6.6
物件費	5億1,150万円	16.0	△8,036万円	△13.6
普通建設事業費	3億7,973万円	11.9	1億6,596万円	77.6
公債費	3億5,701万円	11.2	213万円	0.6
繰出金	3億3,256万円	10.4	394万円	1.2
災害復旧事業費	1億8,807万円	5.9	1億8,783万円	-
扶助費	1億8,112万円	5.7	541万円	3.1
その他	4,405万円	1.3	△2,902万円	△39.7
計	31億9,900万円	100.0	3億1,900万円	11.1

※その他=維持補修費、積立金、貸付金、予備費

村民1人当たりに使われるお金は**977,390円**です。
(前年度比121,267円増)

民生費	168,917円 (404円減)	公債費	109,077円 (3,584円増)
教育費	131,710円 (49,769円増)	災害復旧費	57,462円 (57,388円増)
総務費	124,047円 (9,094円減)	土木費	51,320円 (2,674円減)
農林水産業費	120,248円 (3,251円増)	消防費	20,652円 (2,047円増)
衛生費	110,826円 (3,910円減)	その他	62,060円 (21,309円増)

※一般会計のみ。R2.3.1現在の住基人口3,273人で計算

お金の使いみち



住民健康診査

【衛生費】 3億6,274万円

保健事業や予防接種、環境衛生などのため

○東白衛生組合・斎苑運営費	1億4,286万円
○住民健康診査・がん健診事業	1,447万円
○乳幼児・妊産婦医療費助成事業	1,105万円
○予防接種事業	915万円
○浄化槽設置整備事業	231万円



交通安全・防犯対策

【総務費】 4億601万円

選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのため

○行政区振興事業	1,544万円
○生活バス路線運行事業	1,882万円
○光ファイバー網維持管理費	4,157万円
○交通・防犯対策事業	375万円
○戸籍住民基本台帳事務費	1,114万円



昔ながらの手植えの様子

【農林水産業費】 3億9,357万円

農林業の振興や農林道の整備などのため

○中山間地域等直接支払制度事業	9,906万円
○ふくしま森林再生事業	7,850万円
○大豆振興対策事業	1,739万円
○米の全袋検査推進事業	1,298万円
○多面的機能支払交付金事業	1,931万円



親子運動会（こどもセンター）

【民生費】 5億5,287万円

高齢者や子ども、障がい者などの福祉のため

○こどもセンター運営費	9,927万円
○障がい者福祉事業	1億975万円
○児童手当給付事業	3,902万円
○高齢者福祉事業	2,280万円
○敬老祝金支給・敬老会開催事業	597万円



公設民営の宿泊施設が開業予定

【その他】 2億312万円

議会の運営や商工業の振興などのため

○議会活動費	3,559万円
○商工業振興事業	2,188万円
○宿泊施設取得整備事業	5,849万円
○鹿角平観光牧場運営業務	335万円
○公債費償還	3億5,701万円



道路の維持・管理

【土木費】 1億6,797万円

道路や住宅を整備、維持するため

○道路改良事業	7,161万円
○道路維持事業	2,503万円
○道路環境美化事業	1,013万円
○地域住宅支援事業	820万円
○分譲住宅地販売促進事業	155万円



小型動力ポンプ積載車

【消防費】 1億3,655万円

消防施設の整備や消防団活動のため

○広域常備消防運営費	7,649万円
○消防団活動事業	1,830万円
○防災行政無線施設管理業務	768万円
○有蓋防火水槽等整備事業	2,946万円



大規模改修を予定している青少年広場

【教育費】 4億3,109万円

学校教育や生涯学習、体育振興などのため

○小学校教育活動費	2,543万円
○中学校教育振興事業	2,640万円
○スクールバス運行事業	1,056万円
○こどもセンター幼稚部運営費	3,482万円
○青少年広場大規模改修事業	1億5,865万円

関根村長に聞く！ 新年度の予算編成

「必要性が高い 事業から優先的に」

令和2年度の村づくりの基本となる当初予算が、3月の村議会定例会で可決されました。関根村政になって初めての当初予算。村長の村づくりを聞きました。

目指す村づくりに向けた9つの軸

当初予算の編成にあたりましては、重点項目として「①こども・青年・女性・高齢者を含むすべての村民のアイデアを活かせる村」「②人づくり・教育・子育て支援に全力を注ぐ村」「③高齢者や障がい者も安心して暮らせる村」「④産業発展と雇用創出で村

民生活が安定する村」「⑤観光資源を活かし人が集まる村」「⑥自助・共助・公助で支え合う村」「⑦村民生活に直結する施策を優先する村」

「⑧村民の健康増進を徹底指導できる村」「⑨条例制定その他」の9つを職員に示しました。そこから実施の可能性などを検討してもらい、当初予算を作成してもらいます。すでに「村民との対話の日」

など、新たな取り組みを始めているところですが、新年度はより一層、住民主体の村づくりを推進したいと考えています。

要望を受けて青少年広場を大幅改修

当初予算で金額の一番大きいものは、継続して要望のあった青少年広場の改修工事

です。これは、長年の問題であった水はけを改善する大型工事になります。日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成事業を申請中ですので、採択が得られ次第工事の規模を決定していきます。

旧つるや旅館の改修工事

同じく多くの方から要望があったものとして、村の中心部の宿泊施設の整備があります。1月に経営者が決定し、公設民営の施設として令和2年度中のオープンを目指して改修を進めます。昔からお湯の質が良いと評判の湯の田温泉の復活のためにも、さきり荘と連携できるような運営を想定しています。

子育て支援策や定住促進の検討も進める

今年度は台風19号の災害復旧工事などの大型予算を優先したため、本来行いたかった子育て支援や定住促進などの人口減少対策の予算を計上することができませんでしたが、しかし、これらについても新

青少年広場大規模改修事業 1億5,865万円
▶昭和61年に山を切り出して整備された青少年広場は、排水が悪く、雨が降ると表面がでこぼこになり使えなくなってしまう。部活などで使用する際にはつまづきやケガの原因となるため、改善の要望がありました。新年度事業ではグラウンドの排水改善を図るほか、防球ネット、LEDライトの整備も予定しています。



毎月実施している「村民との対話の日」。村役場ロビーで村長が直接皆さまの意見やアイデアなどを聞きます



関根 政雄村長

地方自治の最大の目的は「住民の福祉の向上」であり、住民の要望を実現することです。令和2年度は、目指す村づくりのために現状を把握し、将来的な視野に立ち、限りある財源を無駄なく、公平公正に最大活用し、「住民主体の村づくり」を推進します。

宿泊施設取得整備事業 5,849万円
▶村は令和元年10月に建物と土地を取得。令和2年1月、公募により経営者が決定しました。今後、改修工事を行い令和2年度中のオープンを予定。



年度中に計画を検討し、早めの実施できる可能性を探っていきます。また、各区から受け付けているさまざまな要望も、新年度の中でどうしたら実現できるのか改めて考えていきたいと思っています。

中心地域活性化プロジェクト

そして、中心地域の活性化について気になっている方も多いと思いますが、今年度中には地方創生の予算を活用し、村づくり公社の準備も含めて最終的な計画部分の方向性を定めていけるようにします。

施設についてはアンケート調査などを通して皆さんの意見を真摯に受け止め、財源も

考慮し、無理のない、村の身の丈に合ったものを、皆さんに望まれるものを計画していきたいと考えています。

新年度の体制に期待

新年度からは副村長と教育長を迎え、行政運営も新しい体制となります。若い職員の柔軟な意見も取り入れながら、ベテラン職員の経験と感性も大切にして、各課横断的なプロジェクトにも着手していきたいと思っています。

また、子どもたちのアイデアの中にも村の活性化のヒントがあるかもしれません。子どもたちや青年、女性のご意見やアイデアをいただけるような機会も継続して設けていきます。



あなたの献血で救える命があります

献血にご協力ください

実施日 4月21日(火)
場所・時間 ▼鮫川器械機
：10時～正午 ▼役場前駐
車場：13時45分～17時
注意 65歳以上の人は60～
64歳の間に献血経験があ
る人に限ります。

■献血対象者など

献血区分	200ミリ ^ℓ	400ミリ ^ℓ
体 重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも 50kg以上
年 齢	男女とも 16歳～69歳	男性17歳～69歳 女性18歳～69歳
献血の間 隔	男女とも 4週間後	男性12週間後 女性16週間後

※基本的に200ミリ^ℓの献血は高校生を対象としています。400ミリ^ℓの献血にご協力ください。

骨髄バンク
ドナー登録も受付中

日本では、毎年6千人もの人に白血病や再生不良性貧血などの血液の難病が発生しています。そのうち、骨髄移植を必要とする人は2千人を数えます。適合するドナーの人を待ち望む患者さんにとって、あなたの登録が命をつなぐチャンスになるかもしれません。

ドナー登録は、約2ミリの採血で行うことができます。献血会場では、骨髄バンクのドナー登録も受け付けていますので、この機会に登録にご協力ください。
登録できる人 ▼18歳～54歳までの健康な人 ▼骨髄提供内容を十分に理解している人 ▼体重が男性45キログラム、女性40キログラム以上の人 ▼家族の同意が得られる人

骨髄などの提供者には
奨励金を交付します

村は、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄・末梢血幹細胞を提供した人に奨励金を交付します。
対象 次のすべてを満たす人 ▼提供した日に村内に住所がある人 ▼骨髄・末梢血幹細胞の提供を完了したことを証明する書類の交付を受けた人 ▼他の公共団体から奨励金に相当する補助金などの交付を受けていない人

奨励金 提供に係る通院・入院1日につき2万円。
※最大14万円。
申し込み 提供が完了した日から90日以内に必要書類を添えて村保健センターに提出してください。
■村保健センター ☎291-1231

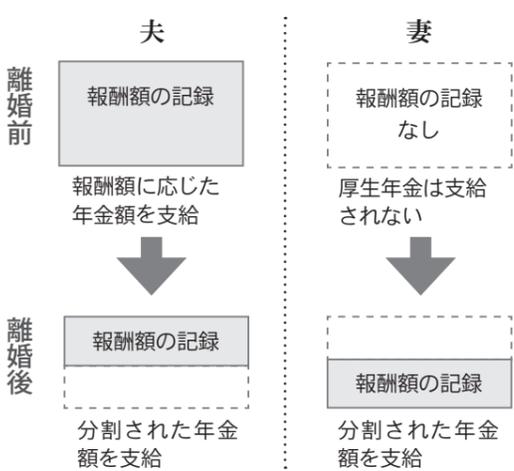
離婚時に厚生年金を分割

年金分割制度をご存知ですか

離婚した場合、お二人の婚姻期間中の厚生年金を分割することができます。離婚後2年以内に手続きする必要がありますので、該当する場合はお早めに日本年金機構白河年金事務所までご相談ください。

2人の合意または裁判手続により決定。②3号分割：サラリーマンの妻である専業主婦の人など、国民年金第3号被保険者(20歳～59歳で、厚生年金保険の被保険者または共済組合の組合員の被扶養配偶者)だった人からの請求により年金を分割。分割の割合は2分の1

【年金分割のイメージ】



サラリーマンなどが加入する厚生年金は、給与などの報酬の額に応じて保険料を納付し、報酬額の記録に応じて厚生年金が支払われます。離婚時の年金分割が行われると、婚姻期間中について、厚生年金の支給額の計算の基となる報酬額の記録が分割され、年金額をお2人で分割できます。

大樂勝弘さん(大塩)に 感謝状

全国町村会の自治功勞者表彰として2月26日、大樂勝弘さんに感謝状が伝達されました。大樂さんは平成15年から4期16年間、鮫川村長として自治振興に貢献してきました。昨年8月に任期を終え、その功績が認められて今回の受賞となりました。



人事異動

副村長・教育長が着任 新体制に

4月1日付人事異動により、副村長に渡邊直樹氏、教育長に武藤誠氏が着任しました。



■異動(4月1日付)※()内は旧役職

- 【課長職】▼齋藤利己総務課長(併)選挙管理委員会書記長(住民福祉課長)▼古館基子住民福祉課長(議会事務局(兼)監査委員書記)【課長補佐相当職】▼鈴木千鶴子農林商工課長補佐(兼)振興公社準備室次長(併)農業委員会事務局(兼)教育課長補佐(兼)公民館副館長)▼鈴木隆寛農林商工課長(併)監査委員書記(地域整備課長補佐)▼舟木正博地域整備課長補佐(学校給食センター所長)▼青戸秀樹教育課長補佐(兼)学校給食センター所長(教育課教育総務係長)【係長相当職】▼渡邊和子鮫川診療所事務局長(総務課財政係長)▼船木博枝総務課財政係長(住民福祉課係長)▼緑川久美子住民福祉課係長(地域整備課係長)▼矢吹清勝地域整備課建設係長(地域整備課建設係長)▼矢吹直美総務課企画情報係長(住民福祉課係長)▼芳賀真一学校給食センター次長(教育課生涯学習係長(兼)公民館係長)▼岡部徳子教育課教育総務係長(総務課総務係長)▼石井洋平教育課生涯学習係長(兼)社会教育主事(教育課生涯学習係長(兼)社会教育主事)【主査相当職】▼須藤尚紀住民福祉課福祉係主査(総務課企画情報係主査)▼本郷睦総務課総務係主査(住民福祉課住民福祉主査)▼根本潔地域整備課建設係主査(農林商工課農政係主査)▼高坂正紀教育課生涯学習係主査(農業委員会事務局主査)▼生田目真由美さがわこどもセンター幼稚園専門保育教諭(さがわこどもセンター保育部専門保育教諭)▼根本彩さがわこどもセンター幼稚園専門保育教諭(さがわこどもセンター保育部専門保育教諭)【主任主事相当職】▼平田太良農林商工課農政係主任技師(地域整備課建設係主任技師)▼菊地弘倫総務課付(農林商工課商工観光係主任主事)▼須藤静香総務課総務係主任主事(保健センター主任主事)▼塩田寿弥農業委員会主任主事(農林商工課農政係主任主事(併)農業委員会主任主事)▼坂本元総務課財政係主任主事(総務課総務係主事)▼原聡志総務課総務係主任主事(総務課総務係主事)▼佐藤克哉住民福祉課住民福祉主任主事(住民福祉課住民福祉主事)▼岡部和彦さがわこどもセンター保育部主任保育教諭(さがわこどもセンター幼稚園主任保育教諭)▼五十嵐静香さがわこどもセンター幼稚園主任保育教諭(さがわこどもセンター保育部主任保育教諭)【主事相当職】▼関根夏希地域整備課建設係主事(住民福祉課福祉係主事)
- 新採用(4月1日付)▼藤田冬華農林商工課商工観光係主事▼緑川真菜住民福祉課住民福祉主事▼関根成人保健センター主事▼大竹成美保健センター保健師▼中川西伯仁教育課生涯学習係主事(兼)公民館主事
- 再任用▼金澤広一総務課総務係主査
- 退職(3月31日付)▼鈴木重正(総務課長)▼石井智子(鮫川診療所事務局長)▼鈴木真理子(住民福祉課副主幹)



初代委員長の生方さん(中央)と齋須委員長(右)と芳賀庶務(左)

歴代委員長に感謝

赤十字奉仕団が結成30周年を迎えました

村赤十字奉仕団(齋須信子委員長)は、3月2日に結成30周年を迎えました。3月8日、齋須委員長と芳賀伊津子庶務は歴代委員長の生方スミさん、宗田セキさんのお宅を訪れて感謝状と記念冊子「30年の歩み」を手渡しました。村赤十字奉仕団の団員数は58人。アルミ缶の回収や炊き出し訓練などの地域貢献活動を行っています。

こんなにおおきくなりました

こどもセンター卒園式

こどもセンター卒園式は3月19日に行われました。生田目京子園長が卒園児20人に「がんばる力、やさしい気持ちを大事にして立派な1年生になってください」とあいさつを贈りました。お別れのことばでは、園児たちが思い出を発表し、「にじ」「ゆめわかば」など3曲を披露。保護者たちは目を潤ませ、子どもたちの成長を実感していました。



お世話になった先生と最後はタッチしてお別れしました



感謝を胸に新たな道へ旅立ちます

恩師に感謝を込めて

鮫川中学校卒業式

鮫川中学校の卒業証書授与式は、3月13日、同校体育館で行われました。34名の卒業生を代表して湯坐美紅さんが感謝の気持ちを述べると、3年間で成長した姿に会場は感動に包まれました。新型コロナウイルスの影響で式が中止となる学校もあるなか、村では在校生、保護者も参加して門出を祝いました。



卒業生を代表して答辞を述べる湯坐美紅さん



受け渡しを行う矢吹さん(左)とたんぼぼの家の中川西さん(右)

村で有効に活用してほしい

鮫川器機(株)が電気ストーブ42台を寄付

鮫川器機株式会社(中野町)は、事業所内の機器更新により不要となった電気ストーブ42台を村に寄付しました。3月18日、同敷地内で受け渡しが行われ、矢吹仁工場長は「まだまだ使えるものなので、有効に使ってもらえて良かった」と話します。寄付されたストーブは、たんぼぼの家、ひだまり荘、農家民宿連絡協議会などに配られました。



通報を受けてから放水まで迅速に対応する消防団員

万が一に備えて訓練に臨む

春季火災防御訓練を実施

火災防御訓練は、全国春季火災予防運動期間中の2月24日、赤坂東野字遠ヶ竜地内で行われました。訓練には、棚倉消防署鮫川分署、村消防団など約70人が参加。119番通報から始まり、関係機関の連携、命令伝達および情報収集、中継送水・放水などの一連の訓練が繰り返されました。消防団員らは、万が一に備えて機敏な動作で訓練に臨んでいました。

6年間の学び舎を巣立つ

鮫川小学校卒業式

鮫川小学校の卒業証書授与式は、3月23日、同校体育館で行われました。感染症感染拡大予防のため、式は卒業生28人とその保護者のみで行われました。藤田篤校長が「失敗を恐れずに挑み続けてほしい」と式辞を述べると、児童たちは立派な中学生になることを誓い、先生との別れを惜しみつつ、思い出深い学び舎を巣立ちました。



藤田校長から卒業証書を受け取る児童

これからの村づくりに向けて

鮫川村中山間地域フォーラムを開催しました

村とNPO法人中山間地域フォーラムは、2月25日、村公民館で中山間地域フォーラムを開催し、中山間地域等直接支払制度に関わる人や村づくりに関心を持つなど78人が参加しました。はじめに村づくりや直接支払制度に関する講演が行われ、その後、有識者を交えたパネルディスカッションで今後の村づくりに向けて意見を交わしました。



壇上で意見を交わす参加者

鮫川職場探訪記

-第33回-

芳賀建築

地域のつながりに支えられて

芳賀建築は平成5年4月に創業。「自分の人生、やりたい仕事を見つけよう」という父・正一さんの言葉を受けて、芳賀正信さんは大工の道を選びました。「最初はたくさんの苦労がありました。私自身、村のことをよく知らなかったのだと反省し、それからは地域のことに何事も積極的に参加するようにしました」と振り返る芳賀さん。そうしてできた繋がりに支えられ徐々に村で仕事ができるようになったと言います。

プロの仕事は「聞く」ことから

大工として芳賀さんが何より大事にしていることは、お客さんと接して丁寧に要望を聞くことです。「昔は大工任せでしたが、今はいろいろな面でお客さまにもこだわりがあります。それらをしっかり聞き、最適な方法を考え抜いて形にすることが私たちプロの仕事です。『芳賀さんに任せて良かった』という声をいただくと嬉しくしょうがないです」と微笑む芳賀さん。仕事はいつまでたっても勉強です。体が動くうちは頑張りたいと意気込みます。



1_ 木材を構えた瞬間、職人の顔を見せる芳賀さん / 2_ 仕上げは手作業というこだわり / 3_ 大工修業はノミを磨くことから始まりますが、機械化が進み使われることが少なくなりました / 4_ 木材は家ごとに要望に合ったものを使います / 5_ 昨年建設した家。職人の味が出るのが大工仕事の魅力 / 6_ 建てた家すべてに思い入れがあります。写真は独立後に初めて建てた家の上棟祝に使用した柱



一般建築業、新築、リフォーム工事 福島県知事許可(般) 27146号

AK 芳賀建築
HAGA 代表 芳賀 正信

住まいの事
なんでもお任せください!

TEL. & Fax. 0247-48-2329
携帯 090-1496-7451

東白川郡鮫川村大字渡瀬字西野沢162

鮫川村に越してきて6年が経ちました。初めの頃は外灯もない道にたびたび迷うこともあり、携帯の電波も入りづらい村に絶望したのを覚えています。

子どもたちが成長し、私よりも村の道に詳しいことに驚きました。2人とも外遊びが大好きで、夏になると日が沈むまで昆虫探しをしては図鑑で調べて名前を教えてくださいます。

こども園には長男が5歳、長女が3歳で預けることに決めていましたが、朝の送りが毎日葛藤でした。覚悟していたのに、1人で乗る帰りの車の中で何度も泣いたのを覚えています。

けれど、今では元気に「いつてき

村民【随想】リレー — (261)

小林 真理さん

のびのび成長

「お迎えに行く」と笑顔でいつてくれるようになり、その姿に私自身、毎日元気をもらえるようになりました。

お迎えに行く笑顔で帰ってくる姿が本当に可愛くて、仕事の疲れが一瞬で消えてしまいます。1日の出来事を車の中でお話してくれて、家に着いたら自分のことを自分でできるようにしました。

春から長男は小学生。いろいろな心配なことはありますが、楽しい学校生活を送れるよう願っています。私たち夫婦も子どもたちと共に成長出来たらと思います。

次号は、鈴木皆貴子さん(赤坂西野)にバトンタッチ!



こばやし・まり ●1986年1月生まれ。趣味は、料理。モットーはマイペースに過ごすこと。赤坂中野字宿ノ入。

俳句



人形描く飾る楽しみ今朝の雪

中井 恒峯

千柿の甘みの増して茶菓子とす

北條素人坂

春の日にウィルス見えずカメ虫這う

松本 精一

蓬餅ふんわりふくれ香を立て

前田 縫子

土手荒らす獣の道や犬ふぐり

山本 恵子

ふきのとう味噌宅急便のすみっこに

鈴木 米子

矮鶏なくや奥の座敷の師の遺影

斎須 信子

びかびかのランドセル行く通学路

山本五十鈴

短歌

冬の陽を吸うて乾きぬ凍み大根やさしい色が陽の白いする

鈴木イミ子

円相場よりも気になる野菜の値畑に種を蒔こうとめぐらす

須藤 幸子

歌よめばまた春めぐり生きて来し過去は尊し余生大事に

前田喜三子

孫娘コロナに負けず大学の受験果たして桜花咲く

関根キヌ子

縁有りて友達となり訪ねおり満面の笑みカメラにおさむ

赤坂 和子

故郷の歌は悲しい三・一歳月経るも脳裏に消えず

矢吹 一二

令和二年九一歳年来たる気丈に生きむこの道一筋

北條 平

広報さめがわではみなさんの俳句・川柳・短歌などの作品を募集しています。掲載の相談は村総務課広報担当まで。村総務課 ☎49-3111

図書館の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
 鮫川村図書館 ☎ 29-1150

トリノトリビア

川上 和人著、西東社



スズメ、カラス、ヒヨドリ、ハト、つい見過ごしがちな野鳥たち。よくよく見てみると彼らは美しく賢く生きるのに一生懸命で、そしてオカシイのです! 弱者のスズメの生き残り戦略、鳥なのにミルクで子育てするハト。次々にくり出される驚きと笑いに満ちた野鳥の本です。

美しき愚かものたちのタブロー

原田 ハマ著、文藝春秋



1959年6月、国立西洋美術館が開館。ルノアール、モネ、ゴッホ、ロダン—数々の傑作が並ぶ。戦火の中で絵画を守り抜いた元軍人、圧倒的不利な戦後外交で美術品返還交渉に臨む首相。立場は異なれど同じ夢のために心を一つにする姿に胸が熱くなります。



第3土曜日は
 家族一緒に読書の日
 ←新着図書はコチラ

戦没者等のご遺族の皆さまへ

国は、今の日本の平和と繁栄の礎になった戦没者等の尊い犠牲に思いをいたし、改めて弔意の意を表すため、戦没者等のご遺族に特別弔慰金を支給します。

対象 令和2年4月1日時点で「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」などを受け取る方(戦没者等の妻や父母)がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族おひとりに支給します。①令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した人 ②戦没者の子 ③戦没者の父母、孫、祖父母、兄弟姉妹 ④上記1～3以外の戦没者等の三親等以内の親族(甥、姪など)

支給内容 25万円、5年償還の記名国債

請求期間 令和2年4月1日～令和5年3月31日まで

請求窓口 村住民福祉課福祉係
その他 特別弔慰金をご遺族を代表するおひとりが受け取るものです。ご遺族間の調整は、記名国債を受け取った人が責任を持って行うこととなります。

☎村住民福祉課福祉係 ☎ 49-3112 / 県社会福祉課援護係 ☎ 024-521-7923

マイナンバーカード有効期限に注意

マイナンバーカード本体またはICチップ内の電子証明書には有効期限があり、更新手続きの対象の人には、国から青い封筒が送付されます。同封の有効期限通知書を確認して、カードと電子証明書、どちらの更新手続きかをご確認ください。

電子証明書は、村住民福祉課窓口でも更新手続きができます。
 ☎村住民福祉課 ☎ 49-3112

お済ですか 国民年金加入手続き

20歳以上60歳未満の人は、国民年金の加入が法律で義務付けられており、20歳になったときや勤務先を退職(失業)したときは、国民年金の加入手続きが必要です。退職(失業)した人に扶養されていた配偶者も加入手続きが必要です。

加入手続きは、年金手帳など基礎年金番号がわかる書類を用意して、村住民福祉課住民係で行ってください。

また、本年度の国民年金保険料額は16,540円です。

保険料を納付することが困難な場合は、保険料免除制度などがありますのでご相談ください。

☎村住民福祉課住民係 ☎ 49-3112 / ねんきんダイヤル ☎ 0570-05-1165 / 白河年金事務所国民年金課 ☎ 0248-27-4161

境界問題に困ったときの相談窓口

白河消防本部管内では、防火管理者として必要な資格を取得するための防火管理講習を実施します。

申込期間 ①5月13日(水)～20日(水) ②9月9日(水)～16日(水)

会場 東京第一ホテル新白河

申し込み 申し込み用紙は白河地方広域市町村圏消防本部、消防署、各分署で配布してい

るほか(一財)日本防火・防災協会のホームページからも申し込みできます。

☎(一社)福島県消防設備協会 ☎ 024-529-7120

B型肝炎特別措置法 無料相談会

日時 5月9日(土) 13時30分～16時(受付は15時まで)

場所 いわき市労働福祉会館 中会議室1・2

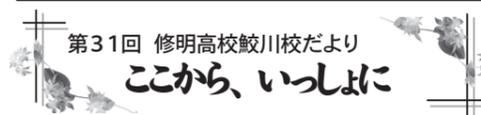
内容 B型肝炎特別措置法に基づく救済や手続きの内容、弁護士に依頼する方法などをわ

かりやすく説明します。
 ☎全国B型肝炎訴訟新潟事務所 ☎ 025-223-1130

寄付・寄贈 敬称略

【2月受理分】▶社会福祉事業のために[金員]…矢吹直哉(東京都) 蛭田浩良(上) 前田三郎(鮫川村老人クラブ連合会) ▶ひだまり荘へ[タオル]…生田目定之助(中沢) 前田三郎(鮫川村老人クラブ連合会)

【3月受理分】▶幼児教育(こどもセンター)のために[金員]…芳賀栄(塙町)



第31回 修明高校鮫川校だより
 ここから、いっしょに

文・写真/修明高校鮫川校
 TEL 49-2029 FAX 49-3109
 E-mail shumei-h-samegawa@fcs.ed.jp



3年生16名が旅立ちました

3月1日(日)、卒業証書授与式が挙行されました。校長式辞に続き、生徒会長の中川西拓弥さん(鮫川中出身)が「どんなことも前向きに頑張る姿に憧れました。いつの間にか先輩方は私たちの目標になっていました」とビデオレターで送辞を述べました。これを受け



卒業証書を受け取る3年生

て前生徒会長の佐藤心治さん(棚倉中出身)が「思いやりを持ち、私たちの大好きな鮫川校をより素晴らしい学校へとしていってください」と答辞を述べました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から卒業生とその保護者、教職員のみで行われた式となりましたが、3年生の成長が感じられた、素晴らしいひとときとなりました。

旅立ち -私の進路を紹介します-

協和木材では、構造材の製造などを行っています。私は1年生の頃からこちらで職場見学をさせていただきました。その中で、自分が木材の選別作業に興味があることに気づくことができました。

力仕事や夜勤は大変だと思いますが、自分で決めたからには弱音を吐かずに頑張っていきたいです。



協和木材株式会社に内定
 関根 駿翔さん
 (棚倉中出身)

4月のスケジュール

8日(水) 始業式・服装頭髪指導・進路希望調査、9日(木) 身体測定、10日(金) 自転車点検、14日(火) 歯科検診
 15日(水) 部・委員会編成、23日(木) PTA総会、24日(金) 尿検査・壮行会・生徒総会

鮫川村役場 (代表・総務課) ☎ 0247-49-3111 FAX 0247-49-2651

■鮫川村公式ホームページ <https://www.vill.samegawa.fukushima.jp/>

住民福祉課 49-3112
 農林商工課・農業委員会 49-3113

地域整備課 49-3114
 議会事務局 49-3115
 出納室 49-3116



災害時対応電話(停電・災害時)
 49-3302・49-3303

教育委員会 49-3151
 図書館 29-1150
 鮫川小学校 49-2005
 鮫川中学校 49-3101
 こどもセンター 29-1010
 学校給食センター 49-2113

保健センター 29-1231
 国保診療所 49-2028
 ひだまり荘 49-3600
 ゆうきの郷土 49-3474
 農業者トレーニングセンター 49-3295

手・まめ・館 49-2556
 さざり荘 49-2205
 ほっとはうす・さめがわ 48-2555
 鹿角平観光牧場 48-2010
 すまいる 57-6901

お誕生

2月届け出分・敬称略

お誕生はありませんでした

おく
やみ

2月届け出分・敬称略

住所氏名	月日	年齢
塩倉 矢吹 武	2. 4	64歳
上 蛭田 操	2. 16	88歳

人の
動き

3/1 現在・（ ）は前月比

人口	3,273人	(-1)
男	1,661人	(-2)
女	1,612人	(+1)
世帯	1,082戸	(±0)

施設営業時間と定休日

国保診療所	8:30~12:00 土・日 13:30~17:00 祝日
図書館	9:30~18:00 月曜・祝日
農業者 トレーニングセンター	9:00~22:00 月曜・祝日
農産物加工・直売所 手・まめ・館	9:00~18:00 第一水曜
村民保養施設 さざり荘	9:30~20:00 水曜
村民の店 すまいる	9:00~19:00 土曜日は18:30まで 日・祝日は18:00まで

暮らしのカレンダー

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
5	6
⑤つちやクリニック(埴町) ☎43-2250	④診療所送迎 村内全域 ●小・中学校入学式 ●小・中学校始業式
第1日曜日は環境美化の日	
12	13
⑤東館診療所(矢祭町)☎46-2312	④診療所送迎 村内全域 ●3~4か月児健診
19	20
⑤和田医院(棚倉町)☎33-2012	④診療所送迎 村内全域
26	27
⑤大木医院(棚倉町)☎33-2424 ●春季一斉清掃	④診療所送迎 村内全域

🚗 村内全域 診療所送迎車運行日 ※予約は前日まで
👶👶 やまゆり乳児室・保育室 [こ]

👤 筋力づくり教室 [保]
🚌 あおぞら号昼バス運行日

April
4

火	水	木	金	土
	4/1 ④診療所送迎 中野・東石	2 ④診療所送迎 青生野	3 ④診療所送迎 富田・渡瀬	4
7 ④診療所送迎 西野・西山	8 ④診療所送迎 中野・東石 ●入園式 [こ]	9 ④診療所送迎 青生野	10 ④診療所送迎 富田・渡瀬	11
14 ④診療所送迎 西野・西山	15 ④診療所送迎 中野・東石	16 ④診療所送迎 青生野	17 ④診療所送迎 富田・渡瀬	18
21 ④診療所送迎 西野・西山 ●献血および骨髄バンク ドナー登録会	22 ④診療所送迎 中野・東石	23 ④診療所送迎 青生野 ●7か月児健診 ●10か月児健診 ●村民との対話の日	24 ④診療所送迎 富田・渡瀬	25
28 ④診療所送迎 西野・西山	29 昭和の日 ⑤深谷クリニック (棚倉町)☎33-3223	30 ④診療所送迎 青生野	5/1 ④診療所送迎 富田・渡瀬	2

⑤=休日当番医 [公]=公民館 [図]=図書館 [保]=保健センター [ト]=農業者トレーニングセンター [こ]=こどもセンター

👶 やまゆり乳児室・保育室
☎こどもセンター☎29-1010

在宅で育児されている家庭向けの子育て交流・支援サービスです。参加費は無料。
対象 乳児室…6か月~1歳6か月 保育室…1歳7か月以上

🦷 毎月8日は歯の日です
防災無線で虫歯予防を呼びかけます

今月の担当は、
学校給食センターです!

栄養技師
菊池 夏美さん

